

週報

こひつじ

第40巻 43号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

のがれの町

その三 復讐の連鎖を断ち切るため

さらに「のがれの町」から学ぶた。

のは、罪には意図的なものと、過つて行なうものがあり、神は、両者をはっきりと区別されるといふことだ。

意図的に罪を犯した人には厳しい罰が求められ、過つて罪を犯した人には「のがれの町」が用意されている。

このように神はすべての行為において、良いことであれ、悪いことであれ、動機をご覧になる。

大事なものは何をしたかではなく、どのような動機でそれを行なったかである。

英国の詩人ブラウニングは言う

復讐者は決意し、計画し、時を待ち、その時が来ると容赦なく自分の憎む者を殺すのである。

「のがれの町」が用意されたのは、復讐者による無謀の血が流されるのを阻止するためだった。神は、復讐の連鎖を断ち切りたいと思われたのだ。

新約聖書は、むろん復讐を禁止している。むしろ人から受けた悪についてには、こう勧めている。

「悪に負けてはいけません。かえって、善をもって悪に打ち勝ちなさい」(ローマ 一二の二二)

復讐する者には、自己義がその根底にある。

相手が一〇〇%悪く、自分は一〇〇%正しい。その考えから多くの場合、復讐が正当化されるのである。

しかし絶対的に自分は正しいと言える人がいるだろうか。正しい方は神だけである。したがって復讐ができるのは神以外にありえない。

ずいぶん前のことだが、妻が孫の世話で長く東京の息子宅に滞在したことがあった。

ある日、妻に電話した。

「なあに？」

と彼女が言う。

「とくに用はないんだけど」

「用がないのに、かけないですよ。こっちは忙しいんだから」

そう言っただけで彼女は電話を切った。私はちかんときた。

「用がなければ、かけちゃいけないのか。わかった。それなら、かけない。むこうからかかってくるまで、だれがかけるもんか。絶対にかけないぞ！」

と私は心の中で叫んだものだった。

おわかりだろう。これが復讐だ。

そんなささいなことでも悶々としている私の心を妻が知ったら、「あなたはそれでも牧師なのか」と彼女は情けなく思っただろう。

やがて私もそんな自分がいやになつて、自分のほうからまた電話をした。

すると彼女は、何事もなかったかのように、その日の向こうでの出来事を楽しく話してくれたのである。

私は勝手に傷ついていたのであ

って、まったくの独り相撲だった。第二礼拝は午前一一時から。教会学校は午前一〇時から。

○説教は米村牧師。

私たちは何と簡単に復讐の態度に出ることか。不当に扱われたと思うと、もう我慢できない。

先週の礼拝

しかし神は、そんな復讐の態度を禁じられたのだ。

○司会は岩崎宏志さん、奏楽は屋宜浩子さん。

では復讐をしないためにはどうしたらよいか。相手を「のがれの町」に逃がしてやることだ。

○説教は「勝利は、嘆きとなった」(二サムエル記一九の二)の言葉から。

そこで神は言われた。

「約束の地に入ったら『のがれの町』を六つくりなさい。のちに領土が拡大されたら、さらにそれに三つを加えなさい」と。

幸福は、それを得ても、またそれを失うのではないかという不安が伴います。

彼らは領土の拡大とともに「のがれの町」の数を増やしていったとある。

平安な人生とは、幸福ではなく、人としての成長を求める人生ではないかと語りました。

先週の出席

私たちも、人として成長すればするほど、「のがれの町」を増やすことができるのではないか。心が広くなれば、それだけゆとりが生まれ、人をゆるすことも容易になるはずだから。(終)

今日の礼拝

礼拝参加者は、第一礼拝が四一〇名、第二が三四名、合計七五名(男二二、女五三)。それに子どもが三名、合わせて七八名でした。

消 息

りさんにお願ひしています。一ヶ月末にはできあがってくるでしょう。こうしてつたない文章でも本にすると、どこかでそれを手にし、読んでくださる方があります。すると他の本はないかとの問い合わせがある。いつかは島根県の出雲市の方から注文の手紙があり、本とともに最近の週報を同封すると、すぐにまた返事がきました。

*

週報をありがとうございます。他の信徒の方と回し読みをしています。するとパソコンの詳しい方がいて、大津教会のホームページに週報のバックナンバーを見つけ、それを印刷してくれました。感謝です。毎日繰り返し読んでいます。私は、まことに、先生の「投壘通信」よつて先生に出会えた者です。

牧師身辺

『イエスの処方箋』―ヨハネの福音書から(上)―と題する本の校正が終わり、新生宣教団に原稿を送ったのですが、印刷には少し時間がかかるのでした。今回も表紙の絵は日本画家の戸田みどり

ぼくは、この年まで、ずいぶん旅行はしましたが、まだ日本海の見える山陰地方を訪ねたことがありません。出雲とはどんな町なのでしょう。こうして、いろんなところに住んでおられる方から、便

○第一礼拝は午前一〇時から、